学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」（大修館書店）						
副教材等	「ニューフェイズ古典２」（第一学習社）、「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版株式会社）、「わかる・読める・解ける　ＫｅｙＰｏｉｎｔ　古文単語３３０　四訂版」（株式会社いいずな書店）、「漢文学習必携　三訂増補版」（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上代から近現代に受け継がれてきた言語文化への理解を深めるための科目です。
・「古典探究」の授業を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方を捉えて内容を解釈し、それを踏まえて自身のものの見方や感じ方、考え方を深め、現代に生きるみなさんの課題発見、解決につなげてください。
・古典を読む際は、作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙や文法の知識を身に付けてください。
・作品そのものだけではなく、作者や時代の背景、歴史、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しましょう。
・国語の特徴的な語句や表現技法を学び、自分の体験や思いを効果的に伝えるための工夫ができるようになりましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。提出物の期限は守りましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。自分の考えや、周りの人の意見なども記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	古典に表れている、人間、社会、自然などに対する、ものの見方、感じ方、考え方にある、現代と共通するものや、現代とは異なる古文特有、あるいは、漢文特有の世界との関わりの中で、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	生涯にわたって古典に親しむことで自己を向上させるとともに、我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語を用いた文化的な言語生活を理解し、尊重し、自らが発展させていく担い手としての自覚を持ち、言語を用いて他者や社会に関わろうとしている。

　上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話 ［教材］ 『十訓抄』大江山いくのの道 『古今著聞集』安倍晴明	a：古典の世界に親しむために必要な文語のきまりや、和歌の修辞、表現を的確に理解し、作者の心情を理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：説話として語り伝えられた背景事情について積極的に理解しようとし、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	故事成語 ［教材］ 『後漢書』糟糠之妻 『蒙求』両頭蛇	a： 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、構成や展開に即して内容を的確に理解している。 b［ 読 ］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について進んで理解を深め、故事成語の由来と意味を知ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	物語(一) ［教材］ 『竹取物語』かぐや姫の昇天 『伊勢物語』渚の院	a：古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや助動詞・助詞、敬語など文法を理解している。 b［ 読 ］：和歌を含めた古典の作品や文章について、効果的な修辞を理解したうえで読解を深めている。 c：物語を通して積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、登場人物の心情のおもしろさを読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	漢詩 ［教材］ 近体詩(李白・杜甫　他)	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかをとらえるとともに、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容と変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付き、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	日記 ［教材］ 『更級日記』門出・源氏の五十余巻	a： 古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや助動詞・助詞など文法を理解している。 b［ 読 ］：筆者のものの見方、鋭さを理解するとともに、人間や社会に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について進んで理解を深め、文章の種類を踏まえて、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

2学期	史伝 ［教材］ 『史記』	a:古典の世界に親しむために必要な基本的句法に留意し、的確に内容を理解している。 b[読]: 文章から人物の行動と心情を読み取り、項羽や劉邦の人物像や行動を的確に理解している。 c: 紀伝体による『史記』に描かれた漢楚の興亡や、作者である司馬遷について興味を持ち深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	随筆 ［教材］ 『枕草子』宮に初めて参りたるころ 『徒然草』家居のつきづきしく	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや助動詞・助詞・敬語など文法を理解している。 b[読]: 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について考えを深めている。 c:作者によって描かれる世界に触れるとともに、学習課題にそって古典作品について自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	思想 『老子』 『荘子』 『韓非子』	a: 古典の世界に親しむために必要な基本的句法に留意し、的確に内容を理解している。 b[読]:文章に表れているものの見方、感じ方、考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 c:古代中国思想について理解を深め、人間存在についての考察を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	物語(二) ［教材］ 『源氏物語』光源氏誕生・若紫との出会い	a:登場人物の人物関係を整理し理解するとともに、文学史、敬語や文法を理解している。 b[読]:重要な語句や表現を調べ、登場人物の人間関係を理解し、心情の変化を的確に理解するとともに、これまでに編まれた優れた現代語訳も味わっている。 c:『源氏物語』という優れた古典作品に対し、政治の視点からも興味を持とうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	文章(一) ［教材］ 『陶潜』桃花源記	a:古典の世界に親しむために必要な基本的句法に留意し、的確に内容を理解している。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、登場人物それぞれの考え方を理解している。 c:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、学習課題にそって登場人物の主張に対して自分の意見を述べようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	物語(三) ［教材］ 『大鏡』競べ弓・花山院の出家	a: 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、構成や展開、書き手の意図を的確に捉えている c:。本文の叙述をふまえて、書き手の考えや意図を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

3学期	文章(二) ［教材］ 『柳宗元』捕蛇者説	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現について理解している。 b[読]: 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めている。 c: 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間